

システム要件定義

資料: ずっと受けたかった

ソフトウェアエンジニアリングの授業2

範囲: 第9章 (P.79～P.92)

著者: 鶴保 征城

駒谷 昇一

60191008

大石 聖也

良いシステムとは

- ・すべてのステークホルダ（ユーザ、発注者）が満足するシステム



利用者には便利
価格が高すぎて、企業の収益を悪化

ユーザ要求とは

- ・ユーザの「～をしてほしい」、「～に困っている」
- ・要求の中身
 - システムでは解決できないもの
 - システムでなくても解決できるもの など

システム要件とは

- ・膨大なユーザ要求の中から取り出したシステム化に最適な部分

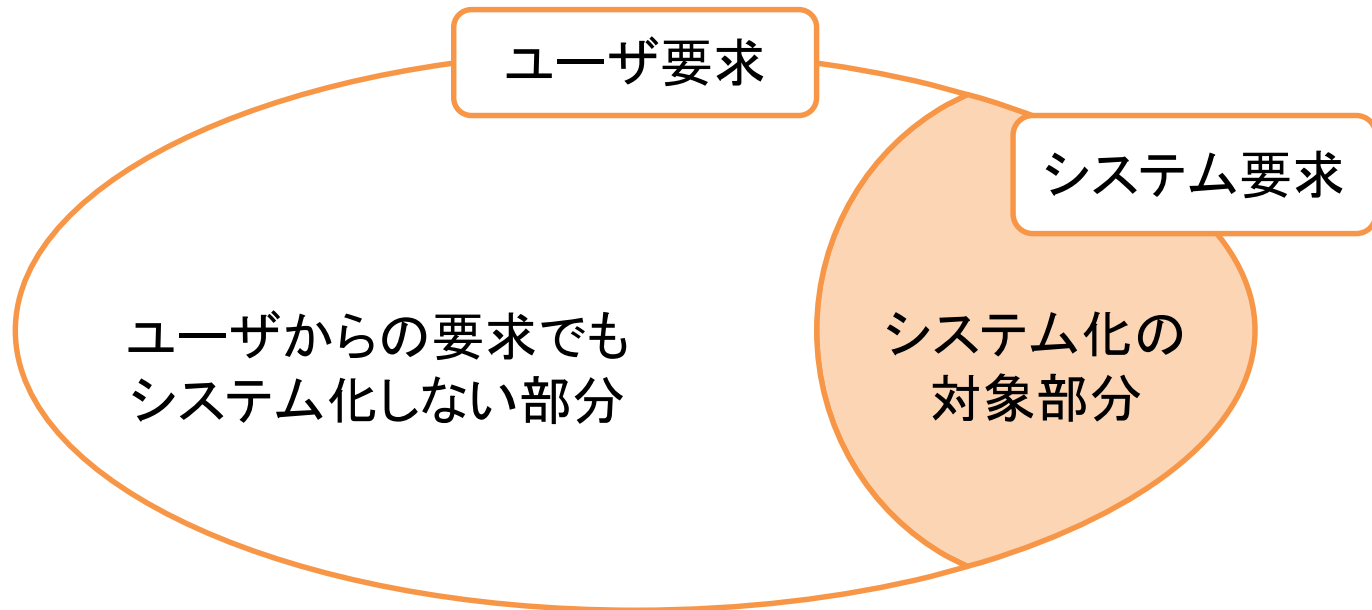


図1. ユーザ要求とシステム要求の関係

システム要件定義書とは

- ・システムに求められる要件を記述したもの
- ・明確化
 - システム構築に必要な技術、費用、期間
セキュリティや品質に求められるレベル

システム要件定義書の構成

- ・目的、目標、構想、概要
- ・システムの主な機能
- ・求められる品質、セキュリティ
- ・システム導入後の業務フロー図
- ・システム化による改善効果やメリット
- ・システム化に必要なコスト
- ・導入されるまでの大まかなスケジュール

開発計画書とは

- ・システム構築の受注をしてもいいかを社内で判断するための資料

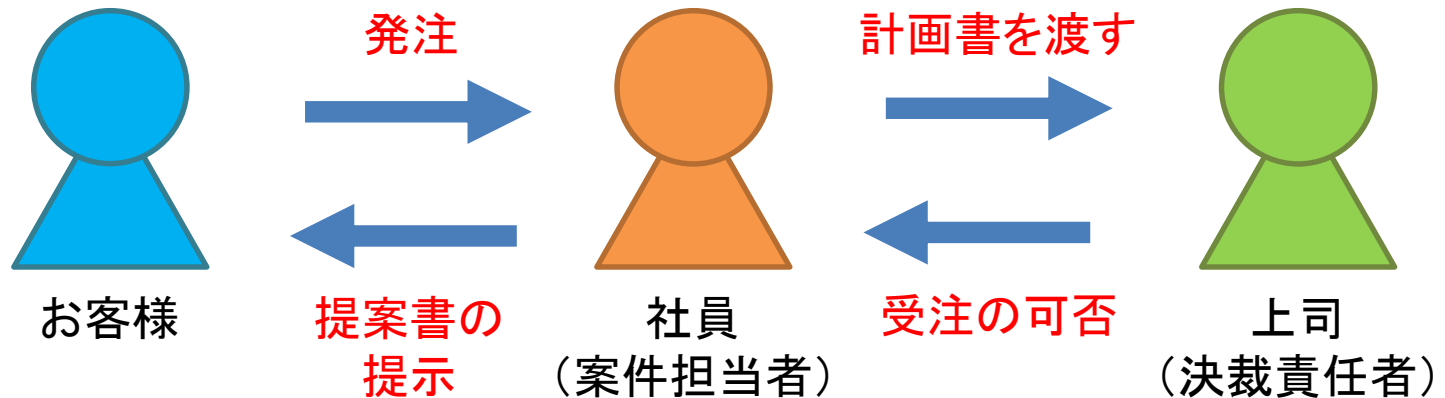


図2. 発注から受注までの流れ

開発計画書の評価方法

- ・5W2Hで考える

Why	なぜ受注するのか
What	なにを作成するのか
Where	どこで作業するのか
Who	誰が担当するのか
When	どのようなスケジュールで進めるのか
How	どのように進めるのか
How much	いくらかかり、利益がいくら出るのか

開発計画書の構成

- ・納期の設定 → PERT図、ガントチャート
- ・開発モデル
- ・システム開発環境
- ・生産物の規模
- ・開発体制
- ・システム開発上の留意点
- ・想定されるリスクと対策

PERT図とは

- ・作業の手順を図で表し、各作業にかかる時間から、プロジェクト全体の期間を求める
- ・クリティカルパス
→ 遅らせることのできない作業

PERT図の例

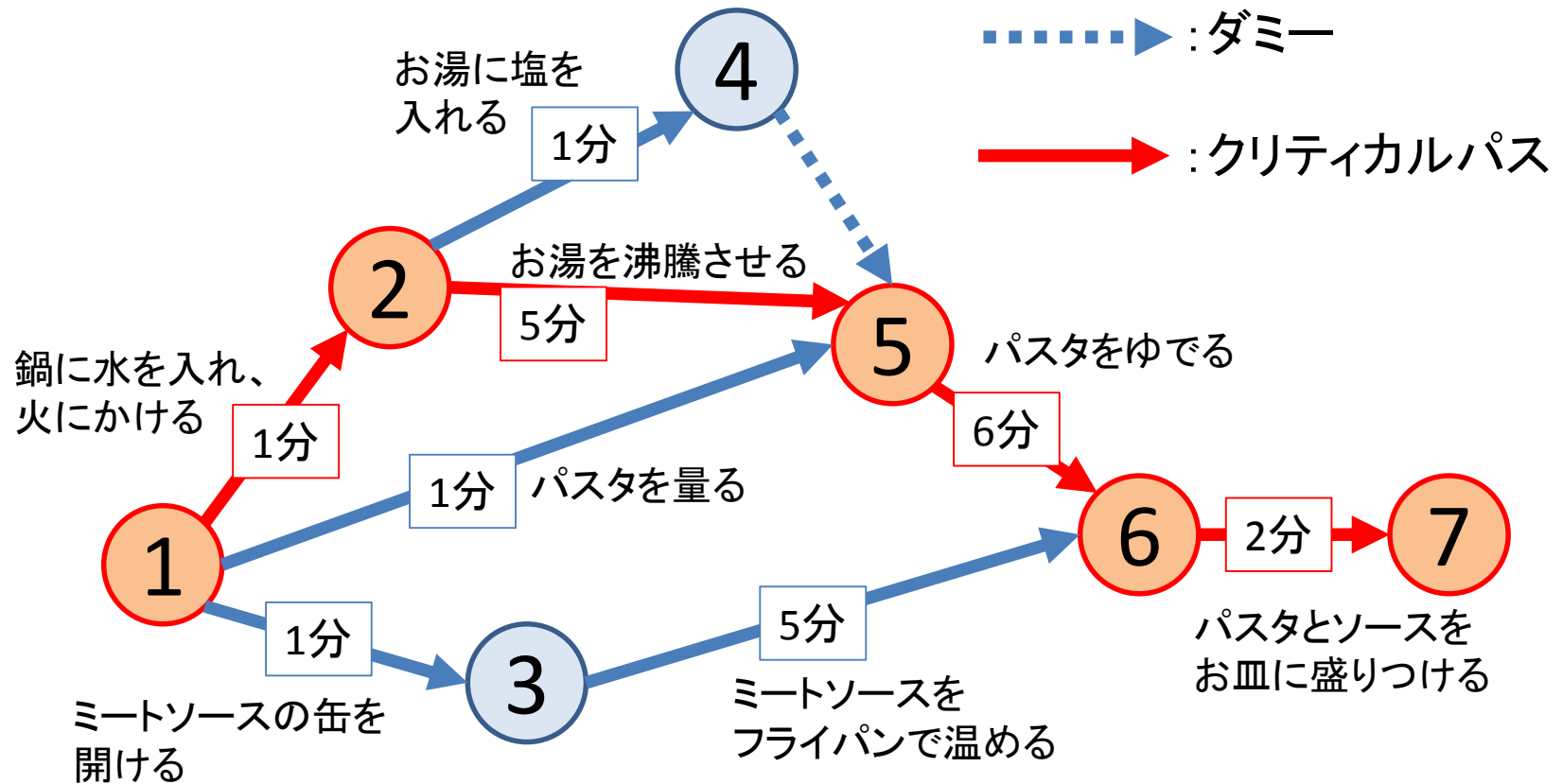
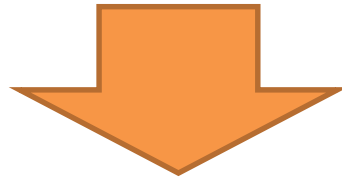


図3. PERT図の例

ガントチャートとは

- どの作業にどのくらいの時間があるのか
どの作業をいつから始め、いつ終了するか



- 人や機材など開発の資源を考慮して、
スケジュールを考えることができる

ガントチャートの例

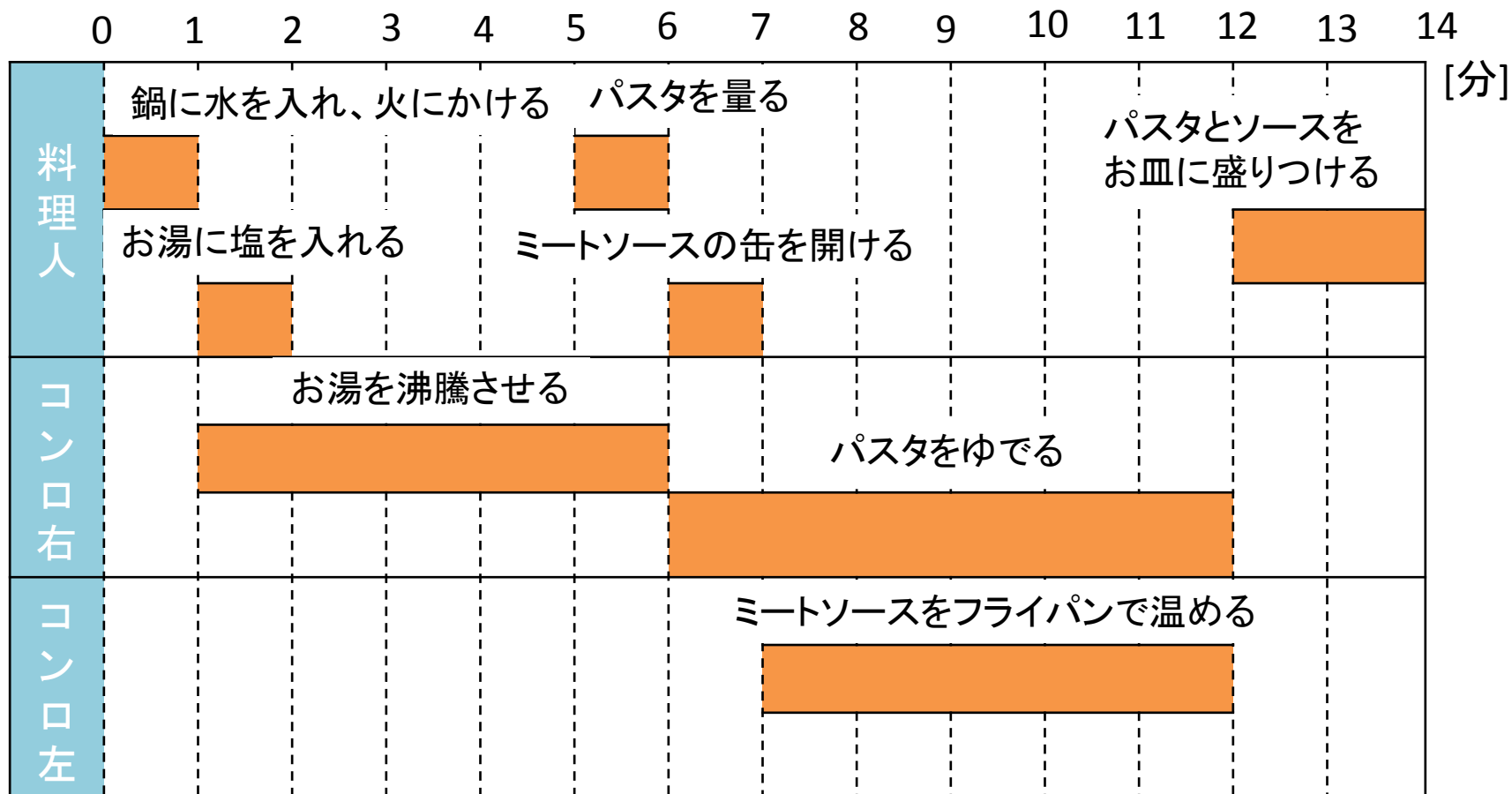


図4. ガントチャートの例

まとめ

- システムの要件を決める
 - 膨大にあるユーザの要求から判断
- 受注の可否を決める
 - システム開発計画書が必要